

まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり

VOL.25

2004年
夏の陣

ちよまつ ひろやす

泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (30歳)

三位一体の改革



2004年夏の陣である第20回参議院選挙が7月11日に行われました。私の所属する自由民主党は、悲願の単独過半数どころか、若干甘く定めた勝敗ラインの51議席をも割る49議席という結果でありました。一方で、野党第一党の民主党は50議席を獲得し、昨年11月に行われた衆議院議員選挙での躍進と合わせて、「二大政党政治」の流れを加速させたと新聞報道などで目立ちます。今回の選挙では、年金改革や自衛隊の多国籍軍参加などの重要な問題に関して、政権政党としての自由民主党の説明責任が十分ではなく、多くの国民の方々が、自由民主党の奮りに対して反省を迫り、民主党がそういった批判の受け皿となつて、この結果を生み出したものではないのかとも考えます。しかし極端な政局にはいたらなかったことで、現在の民意も小泉改革路線を続行させていくという評価であったとも私

は考えます。その小泉改革の中で、地方自治体にとって最も関わりがある「三位一体の改革」ですが、この内容は、平成16年度から平成18年度にかけて

1. 国庫補助金の改革
概ね4兆円程度の国庫補助金を廃止・縮減する。

2. 地方交付税制度の改革
地方財政の自立を図るため、地方財政における地方交付税への依存を低下させる。

3. 税源委譲を含む税源配分の見直し
廃止する国庫補助金の中で、地方が引き続き実施する必要があるものについては、税源を移譲する。

6月定例議会

議員定数削減・議員報酬カット

3月定例議会の段階では、市長選挙が行われた直後の議会でしたので、政策的な予算の部分は抜きにした骨格予算でした。6月に開催されました議会において、政策的な予算の部分を盛り込んだ補正予算が組みました。

今回の補正総額は25億8,781万円で、トータルの平成16年度一般会計予算は408億474万円となりました。主な投資的経費の予算は裏面(表1)をご参照く

といったものであります。しかし、3月の当初予算の段階では、国庫補助金の縮減額に対して、税源移譲が十分に行われていないといった状態でありました。泉佐野市の当初予算では、国庫補助金でマイナス4億1千万円、しかし税源移譲ではプラス1億6千万円といった状況で、これが泉佐野市の予算編成にも大きく響いてきたのであります。

この「三位一体の改革」を起点に国と地方の税源配分の根本的な見直しが行われて、地方自治体が地方分権時代にふさわしい税財政基盤が確立できれば、より住民に身近なところで政策決定、税金の使途決定が行われ、住民の意向に沿った地方行政が可能となりますが、まだまだ国の財政再建が優先されているような内容であり、本来の主旨に沿った改革を推進するようにと地方議会から訴えていかなければなりません。また自由民主党に所属する地方議員の一人としても、このような現状を機会ごとに訴えていく所存であります。

ださい。

また、泉佐野市の財政非常事態宣言を受けて、議会としても経費削減に努めるために、議員定数削減と議員報酬カットの条例を賛成多数で可決しました。この条例によって次回の市議会議員選挙では、議員定数が現在の23名から21名になり、報酬も一年間の報酬総額の3%をカットすることになりました。これによる効果額は平成18年度までで、3,443万円となります。

(表1)

事業名	財源内訳					合計金額
	国からの補助金	府から出るお金	借金	市が出すお金	基金からのお金	
泉佐野市駅上東地区再開発	5億2,150万円	0	5億4,000万円	1,250万円	0	10億7,400万円
南中・上田ヶ丘住宅建替	2億4,539万円	0	2億4,280万円	0	4,148万円	5億2,967万円
南海連続立体高架事業	0	1,122万円	3億4,960万円	40万円	0	3億6,122万円
松原団地住宅建替	1億2,800万円	0	1億2,790万円	0	664万円	2億6,254万円
中央小学校増築	8,738万円	0	1億6,250万円	56万円	0	2億5,044万円
民間保育所整備助成(2園)	0	0	0	5,569万円	0	5,569万円
日根野小学校整備	0	0	0	2,202万円	0	2,202万円
第一小学校屋内運動場改修	0	0	0	540万円	0	540万円
小学校図書室空調設置(4校)	0	0	0	241万円	0	241万円



市立総合体育館

3月議会では、泉佐野市の危機的な財政状況を回避するために、財政健全化計画修正案(素案)が出されました。そしてマスコミにより、泉の森ホールの閉館やコミニティバスの廃止などが報道されました。しかし今回の6月の議会で修正案が出来上がり、コミニティバスは採算改善により存続し、泉の森ホールは管理経費の大幅改善により閉館はしないことに

財政健全化計画修正案

なりました。また市立総合体育館と健康増進センターを週2日休館にする計画に対しては、3月議会でも反対の請願が泉佐野市体育協会と利用者の市民の方々から多くの反対署名とともに議会に出されました。私もその請願の紹介議員となり、これら公共施設の休館日増には反対する立場をとりました。そして行政側は利用者と利用団体への説明不足の非を認め、4月実施予定を10月まで延期しました。6月議会になって行政側から市立総合体育館の週休2日制実施に伴う使用に関しては、公共的団体に施設管理許可を出し、経費削減効果を損なわずに、増える休みの日(火曜日)でも使用できるかたちにしていくと説明がありました。この方向性が今後、体育協会などの公共的団体とうまく打ち出していけるのであるならば、休館日を増やしたとしても、それ以前の状況と団体の利用に関しては、あまり差異のない状況をつくれると考え、自身は反対請願の紹介議員を下りる

という判断をいたしました。市立総合体育館の団体利用に関しては、健康増進センターや総合体育館を個人で利用されている方に対しては、この10月からの休館日増の影響をまともに受けてしまっています。このような方々に対しては、私自身の力不足を心から深くお詫び申し上げます。団体利用と同等的な方向性が打ち出せるように努める所存でありま

千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University MBA 取得
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了
- 2004 和歌山大学大学院在学中
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2004.5 第61代泉佐野市議会副議長就任



[現在]

- 泉州南合併協議会委員
- (社) 泉佐野青年会議所理事
- (NPO 法人) 大阪夢づくり協議会理事
- 泉佐野市バレーボール連盟会長
- 同大アメフト部 OB 会常任理事
- 自由民主党泉佐野支部政務調査会長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31
TEL 58-1708
FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール chiyoma51@hotmail.com
発行部数累計 347,000部 2004.7第25号

* 「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。